

工事名: 荒川五丁目地区配水管布設替(その1)工事

[改良35]

	質問	回答
1	交通規制時間について 特記仕様書内の工事条件明示書に「交通規制時間8:30~16:00」と施工時間が短く設定されていますが、これはどのような事情によるものでしょうか。また、この施工時間が短いことを考慮して工期設定をされているのでしょうか。施工時間が短いことによる工事の内容及び工事期間に変更の必要がある場合は実際に必要な内容・期間での設計変更や工期延長の協議をして頂けますか。	近隣の中学校と協議の結果、通学時間をさけてほしいとの要望があったため、通学時間をさけた施工時間で設計をおこなっております。 施工時間を考慮した工期設定をおこなっております。
2	建設発生土搬出について 特記仕様書内の工事条件明示書に「建設発生土について、50km範囲内の他の建設工事に搬出する」として搬出先が指定されていますが、今回の工事に当たって受注者が特に行うべき事はありますか。	工事条件明示書の記載に誤りがありました。「建設発生土について、50km範囲内の他の建設工事に搬出する」は対象無しです。 なお、工事条件明示書の該当部分を訂正後のものに差し替えました。訂正後の特記仕様書は、電子入札システムに掲示(ZIPファイル名の最後がnewになっています。)してありますので、再度ダウンロードして確認してください。
3	As舗装切断排水について 土工の中の「As舗装切断排水 一式」というのは舗装切断に伴う切断汚泥処分費のことでしょうか。	As舗装切断排水は、舗装切断排水処分費のことです。
4	サヤ管について φ250・φ100の黒鋼管サヤ管の材料費計上がありますが、施工費についての記述が見当たりません。実際に鞍管の設置が必要な場合にはその施工方法や必要になる工種、仮設備、両端の処理などの工事の増及び作業日数の増について必要数量及び必要日数での設計変更や工期変更の協議をして頂けますか。	サヤ管の費用については、施工費を含めた金額を材料費の項目で計上しております。なお、試掘等の現地調査の結果、設計図書記載の施工が困難な場合は、受注者と協議いたします。
5	仮設備追加が必要な場合の変更について 設計では現地は砂質土となっておりますが、現地状況がこれと異なる場合には、掘削の為の工法・機械の変更や追加、これに伴う作業必要日数の増加などが必要になる場合があるかもしれません。また、管路伏越のために掘削深の深い箇所がありますが、現地の実地の土質や地下水位により、設計内容での土留めやポンプ排水では安全な工事ができない場合があるかもしれません。その場合には、これのために必要な工法・設備・揚水排水設備等について実際に必要な内容・期間での設計変更や工期延長の協議をして頂けますか。	砂質土と想定しておりますが、試掘等の現地調査の結果、設計条件と現地に差異が確認できた場合は、受注者と協議いたします。
6	給水管取付替工について 給水管取付替工について、設計書表紙と設計書内訳、図面で件数や項目・口径と延長の数量が一致しないのではないのでしょうか。取付替一覧表等を設計資料内に含めて明示いただくとわかりやすいのですが、積算は設計書内訳での積算でよろしいのでしょうか。また、変更が必要な場合にはその内容について実際に必要な内容での設計変更の協議をして頂けますか。	取付替件数、項目、口径、延長については、一致しております。現地調査の結果、設計条件と現地に差異が確認できた場合は、受注者と協議いたします。
7	φ50給水管取付替について φ50給水管の取付替実施方法については仮設備・仮バルブの設置方法を含め、実際に実施可能な内容での設計変更協議をして頂けますか。	試掘等の現地調査の結果、設計図書記載の施工が困難な場合は、受注者と協議いたします。